

レビュアーの読後感情を用いた小説の感情値算出に関する研究

遠藤 尚希

現在インターネット上には、商品レビューを投稿できるサイトが数多く存在し、ユーザは商品に対する自分の意見をレビューとして書き込み投稿する。レビューサイトには様々なジャンルが存在するが、その中には書籍のレビューを扱うサイトも存在する。書籍レビューサイトには実際に書籍を読んだ人の感想が書かれており、書籍の購入を検討している多くの人が利用している。

レビューは利用者の立場での意見を知ることができるため、ユーザにとって有用な情報であるといえる。しかしレビューサイトには誰でも投稿できるため、現在レビューの数は膨大となっており、その中からユーザが求める情報を得ることは難しい。そのためレビューを対象に分析、考察し、ユーザが求める有益な情報を算出する手法を提案している先行研究は多く存在する。

本研究ではレビューに含まれる感情に着目し、読者が書籍から受け取る印象を感情値として算出する手法を提案する。この提案手法は「レビュー内にレビュアーの読後感情が含まれている」ことが前提となっており、レビューから感情語を抽出し、抽出した感情語に感情値を付与した感情辞書を作成する。作成した感情辞書を用いて、小説の感情値を算出するシステムを作成した。そして実際に作成した感情値算出システムに小説を入力し、結果を評価した。

(指導教員 佐藤 哲司)